

令和 6 年度 (2024 年度) 本科卒業式 専攻科修了式 式辞

卒業生並びに修了生の皆さん、ご卒業、ご修了おめでとうございます。また、これまで皆さんを支え、励ましてこられたご家族・関係者の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

さて、コロナ禍を経た現在、感染症罹患者が急増したクラスを遠隔授業とするという、学びを止めない対応が取れるようになっていきます。まさに技術が社会の窮状を救いつつ、教育の場を変革させたのです。思い起こせば、本科卒業の皆さんの入学以降の約3年間は、常に新型コロナウイルス感染症への対応に迫られていました。簡略化された入学式とその直後の休校、登校ができないままの遠隔授業、そして通常の授業体制となってからも、行事の中止が相次ぐなど、何事にも苦難な状況が続きました。見事にそれらを乗り越え、本日、ここに卒業、修了を迎えた皆さんに、お祝いの言葉を贈り、心より門出を祝したいと思います。

世界に目を向けると、ウクライナや中東で緊張が続き、アメリカの関税政策をきっかけに経済も先行きが不透明な状況となっており、国際社会が平和と安定を模索しています。一方日本でも、円高やそれに伴う物価上昇が家計に多大な影響を与え、少子高齢化や地域格差といった社会課題も依然として大きなテーマとなっています。

この様な状況において、「高専」への注目度が高まっています。これはすでに制度創設 63 周年を迎えようとしている高専門学校卒業生・修了生が、産業界で高く評価されているからです。Society5.0 では、AI や IoT を始めとする先端技術の活用をもって、人々が快適に暮らせる社会を実現し、経済発展と社会課題の解決の両立を目指しており、その中核となりうる人財として「高専」の卒業生や修了生が大いに期待されているのです。

本法人は気候非常事態宣言を発出しており、本校でも環境に考慮した研究、教育、学生活動等に取り組み、更にグリーンデジタル人材育成に係る施策も準備を進めています。加えて、社会に変革をもたらす可能性を広げる、スタートアップ教育支援も開始しています。皆さんには、高専で培った技術力・実践力を生かし、SDGs の実現が求められる社会を変え、様々な目標を実現させる力があると信じています。

私は例年、入学式、年頭のメッセージや卒業式・修了式にて、将来の「志」に繋がる、自分が関わりたい技術が描く“近未来社会”の「夢」を持ってほしいとお話しています。変化の激しい幕末に生きた吉田松陰氏は「志（こころざし）を立てて以て万事の源（みなもと）と為（な）す」と語っています。自ら立てた「志」には「万事の源」となるパッション（情熱）が宿ります。これからも「夢」を持ち続け、そして、社会や家族・仲間との係りの中で、「夢」を、困難をも乗り越えて具現化する「志」に昇華させて、皆さんの自己実現を目指してください。

皆さんの一人一人が主役です。本校での学びと経験に自信と誇りをもって、新しいステージに進んでください。皆さんの活躍を期待しています。

本校はこれからも皆さんを応援していきます。卒業、修了する皆さんには、母校を生涯の学びの場として、これからも積極的に活用していただけることを願っています。

令和7年3月17日

東京都立産業技術高等専門学校

校長 吉澤 昌純